

グループワーク①記録より

グループ構成委員 N委員・I委員・C委員・A委員・O委員
(記録-事務局)

《コロナ禍の高齢者の生活状況について》

I委員：

コロナ禍で、認知症状のある高齢者が増えたかもしれない。社会福祉協議会、地域包括支援センターに相談しながらその都度、対応しています。

C委員：

コロナ禍で、目の輝きを失った方や、買い物にも行かない、出掛ける機会や人と触れ合うこともないという方がいます。身だしなみ、メリハリが少なくなっており、ボランティアグループでも「今日は行けない」と活動を突然キャンセルする方もいます。地域で認知症状がありそうな方がいますが、自分から家族へ声の掛けづらさを感じています。

A委員：

シルバー人材センターでは、さまざまなイベントが中止になっており楽しみにされていた方は寂しさを感じています。気力が衰えて心配な高齢者がいます。

《生活課題について》

O委員：

なかなか外出できない方が多く、高齢者の孤立が問題となっています。

N委員：

体力、気力が低下している高齢者が多く、色々な地域包括支援センターから、介護保険サービスに関する相談が増加していると聞きます。オンライン講座で、高齢者も福祉委員の方々も身近な場所につながる喜びをかみしめていました。オンラインが進む中で、SNSは詐欺的なこともありえるため注意喚起していく必要があります。

《団体の活動について》

I委員：

ふれあい外出配食サービスを5か所で20回ほど実施。80代から90代の方の参加が増えていきます。

A委員：

サービスの相談、依頼件数は制限なく対応しています。一時は、サービスの相談、依頼件数は減少しましたが徐々に増加傾向にあります。基本的には、対応できています。男性7割、女性3割の割合で対応中です。

O委員：

約9割の高齢者がコロナワクチン接種済みです。ウイズコロナで活動できるよう、

感染対策しながら市の事業も再開していきます。

先日、各地区民生・児童委員の皆様の協力を得て敬老行事を実施していただきました。今までは、命を守るために外出を控えるようお願いしていましたが、これからはフレイル予防も大切です。見守りにもつながるため、外出する機会を作っていくような事業、手法を考えていかなければならないと思っています。

また、ICTが進んでいるため、オンライン講座や、市の生きがい教室等でのスマホ講座等にも取り組んでいきたいです。

《その他について》

C委員：

地域での開催されているスマホ講座はすごいと思いました。80代と20代をつなげる発想です。

N委員：

吹田市は大学が多い町で、地域の強みとして、いろいろなことに繋げていきたいです。

グループワーク②記録より

グループ構成委員 委員長職務代理者・G委員・H委員・M委員
(記録－事務局)

《コロナ禍の高齢者の生活状況について》

G委員、H委員：

コロナ禍で長い自粛生活が続き、体力がめっきり落ちています。

H委員：

外へ出ることが少なくなり、髭剃りしないなど身だしなみに、気を遣わなくなりました。自分も含めてそう思います。

G委員：

施設を使いたくても使わしてもらえない状況が続き、元気だった方でもこの2年間の自粛で予想外なほどに弱っていて、相当なダメージを受けていると思います。吹高連の活動も自粛を要請され、屋内では声を出すカラオケは駄目と言われ、声を出していけないなら将棋や囲碁くらいしかできないなどの活動に制限がありました。

H委員：

人と会わない、話さないことが増えてどんどん気持ちの面や認知機能の低下がみられています。精神的な辛さもあるみたいで、現実が変わってしまった人も地域の中にいます。

M委員：

私はコロナ禍であっても弱りたくはないと、今迄通り歩くようにしていました。マスク未着用で怖がる人もいたので人が通ったら避けて歩くようにしてきましたが、先日小さな段差で躓き転倒してしまい、自分は大丈夫と思っていたのに日ごとに弱っていたと実感することがありました。

G委員：

選挙で一日会場に座って見ていましたが、歩き方などから驚くほど弱ってしまった人達をたくさん見かけました。この2年は自粛、自粛で、今まで元気だった高齢者にもかなり大きなダメージを与えました。

《生活課題について》

H委員：

自分の地区でライン講座の声掛けをしてもらいましたが「無理、無理」「そんなのできません」と頭ごなしに拒否的でした。先程のNさんからの報告を聞くと、学生さんと一緒にとても楽しそうだったのでもう一度提案してみようかなと思いました。

G委員：

スマホやオンラインの講座とか、高齢者生きがい活動センターや他の場所でもなか
なか参加してみようとはならないです。地元でやってくれるのであれば、参加はしやすいと思います。

委員長職務代理者：

民生委員さんが教えるとなると同世代的なところもあるし、苦手な人もいますので、例えば包括センターやケアマネジャー、地域の事業所の人などに声をかけて協力してもらったりも考えられます。

H委員、M委員：

1対1とかでスマホの使い方やラインを教えてもらえるなら、やってみようと思う
かもしれません。

委員長職務代理者：

ラインが使えるようになって友達とラインしようとしたら、QRコードを読み取る。
それができるようになれば、市のホームページのQRコードなども使えるようになり
便利になります。

G委員：

多くのイベントが中止になってしまい、高齢者が参加する機会が減少しました。

M委員：

同じ担当の役員とはみんなラインで繋がっています。使えたら便利なので、講座とかの情報があったら個々に教えて受けてもらったりもしています。どんどん広めていければいいと思います。自分の地区にもライン講座お願いしたい。

《団体の活動について》

G委員：

緊急事態宣言が明けて吹田市高齢クラブ連合会でカラオケ大会をしたら、200名を超える参加がありました。時期的に世間体はどうだろう…と主催する側は思ったりもしていましたが、みんな出たくて仕方なかったのだと思います。

M委員：

施設ボランティアの活動も長いこと行っていません。11月に入って今週の金曜から麻雀が再開し、今日から百歳体操が再開しています。徐々に青信号になってきているので、短時間でも前のような活動になってくれればいいと思います。

いきいきサロンは案内状がなく、緊急事態宣言で長らく途切れた後の再開になるので、1件1件訪問してまわりました。食事会といかないまでも、お茶を飲んで15人くらい集まってくれたらいいと思っています。

グループワーク③（オンライン参加）記録より

グループ構成委員 E委員・D委員・K委員・F委員
事務局 （記録-事務局）

《コロナ禍の高齢者の生活状況について》

D委員：

法人として高齢者の施設に援助には行ったものの、本人は外に出られず気晴らしができない状況でした。

E委員：

夫婦仲が悪くなったという相談があり、傍にいたことが多くなったため、以前より見える部分が変わり、手が出るという話でした。隠して辛抱してはいけないこと、誰かに話をするなどが大切で、息抜きが大切だと思います。

K委員：

訪問介護として自宅を訪問した際でも、高齢者は外に出られず、デイも行けず外との交流がないため、元気・意欲がなくなり寂しそうでした。

F委員：

コロナウイルス感染症により、高齢者は閉じこもりが顕著になったと感じます。人と話をしていないため、急に話をするとう声が出ないなどがあり、電話でもいいか

ら声を出すように声掛けしてきました。社会との繋がりのない高齢者が多くなって
いることに焦点を当てていけないと思います。

E委員：

高齢者の中にはラインを使用できるようになり、以前はあきらめていたが使える
ようになったという方が増えた。

L委員：

実家にはなかなか帰省もできず、孫とも会えず寂しい思いをしたのではないかと
思いますが、御近所との繋がりがより強くなっているようです。

《生活課題について》

K委員：

介護保険のサービス事業所なので止まることはなかったですが、高齢者の中で
デイサービスへ行くと感染するのではないかと家族が怖がり、デイサービスに行くの
を止めるなどがありました。

《団体の活動について》

D委員：

活動としては施設から高齢者を連れ出すことはできませんでしたが、病院への付
き添いだけはできました。またボランティア活動としては外でできるハイキングな
どの活動ができたり、草抜きの援助などはできました。

E委員：

高齢者の活動支援している団体数が少なくなりました。コロナ禍により長期間休
止しているため、活動を躊躇している感じで、コロナをきっかけに活動を見直して
いる様です。高齢者の活動は足元を見直すよいきっかけになったのではないかと
思います。PR方法や活動方法など、色々考え直すこととなりました。

L委員：

自分で何ができるかを考えて、傾聴ボランティアの養成講座に参加しました。近
所のつながりを考えるきっかけになりました。

K委員：

コロナのことを変に隠していることもありました。高齢者の家族の方には伝えて
もらうことで早めに対処できることもあるため、早く情報を伝えてもらうように声
掛けしています。

《その他について》

K委員：

高齢者は外に出れるようになって、いきいきされている姿を感じました。

E委員：

高齢者の方々がコロナをきっかけにオンライン講座などに出向いて行っています。今までオンラインはもういいとあきらめていた方も、コロナ禍の寂しさを何とかしたいという思いが強くなり、オンラインで人と繋がろうと思ったのだと思います。